

水源禪師法話集 86

(2018 年 4 月 30 日 山梨合宿 4 日目)

2019 年 3 月 3 日

一乗禪の会



サマーディブッダ・スリランカ

目次

水源禪師法話

この世は必ず苦の世界に入って行く仕組み.....	3
結局、一体西洋の神とは何か、仏教は壮大な時間帯で続いて来ている....	4
デバダッタの五法、苦行によりカルマが消える事はない.....	6
「仏は白色にて三角なり」これは体験でしか観る事が出来ない.....	7
お釈迦様は体験によって中道を広めたが、デバダッタは、、、.....	8
「13のドゥタンガ」お釈迦さまが教えた苦行.....	9
今でも存在するデバダッタのゴータマカ、お釈迦様は心の進化を.....	10
書き換えられる人類史.....	11
慈悲の心による心の進化を社会的に難しくしている.....	12
魔の正体と魔の業、私達は魔の世界に生きている.....	14
如何にして人を生かし、社会を生かすか.....	15
アメリカとの戦争に負けた日本と勝ったベトナム、勝敗の原因.....	17

質疑応答

七色は仏の印.....	20
護摩焚き.....	21
南極に隠されたアーク.....	22

水源禪師法話

この世は必ず苦の世界に入っていく仕組み

まあ、壮大なストーリーの中に私たちは生きているけれども、ほとんどそれを分からずに、生まれては死んで生まれては死んでいくと。で、太古の昔より、「108」という数字がとても大事だということを、未だに誰も解明していないけれども。ナスカの地上絵とか、そういう風に、カエラス寺院が108メガリスティックヤードとか。非常に有名なお釈迦様の高さも108。それから太古の昔のできたギザのピラミッドも108。そして弘法大師様を書いたコメンタリー（悟りを開かれた大師様の解説経典）それも108問答。

だから私たちはもう分かったつもりで、また無明を繰り返す。無明というのはこの事。分からないから無明。そしてすぐにサンカラ。また生まれて、苦しんで。まあ、で憂いがある。で、またちゃんと生きている時に分からないから無明が発生してということをやっと説明しましたね。その繰り返しで、その「楽しい、楽しい」だったら良いけれども。

そうじゃないですよ。必ずや強烈な苦しみが発生する。この生きている時に。というのは、サンカラを調べていけばね、私たちのこの仕組みは必ずや苦の世界に入っていくような仕組みになっています。絶対に楽にはならない。苦であるからこれを抜け出そうとするところの意味があるわけです。こういう風に瞑想して。だから普通の人よりも楽にこう、苦から抜けていく状態になっています。

でも一般の人が最も嫌う事がこの瞑想なのです。で、お酒を飲んで麻薬をしたり、好き勝手してお金集めて、その時は良いけれども絶対にハピネスは無いし、何にも無いし、ますます悪い方向になっていきます。

太古の昔より小さい子供を生贄にして、焼いて、今でもやっているみたいだし。で、その一時的な喜びでオーっとなって、でまた、次から次へと人を殺していくでしょう？太古の昔からですよ。そのことを弘法大師様はスラリと述べているけれども。それすらも分からずに、私たちは良い世界に住んで、あの、マヤの世界ね。マヤカシの世界で生きているのです。

それが、私も今日歩いたら迷ってね。(笑) 迷ってやっと着いて (笑)。あの、Cさんに助けられて。観音様がスイスイスイと (笑)。そういう事なのです。だからもう、完全という事はないから持ちつ持たれつでね。私が最初日本で、何故か来て呼ばれて、誰もいないところから出発して。今こうしてたくさんの素晴らしい行者が出ています。

私も本当になんとか心が落ち着いて安心して。法を持つ方が出始めていますからね。だから日本は安泰するでしょう、これから。いくら苦難があっても前みたいにはならないと思う。もう一回法が戻り始めているから。ま、そういう事で頑張ってください。



サマーディブッダ・スリランカ

結局、一体西洋の神とは何か、仏教は壮大な時間帯で続いて来ている

【水源師】

三日続けて奇想天外な、想像も絶しない話をした様で。それで今までのおさらいとして何か、聞きたいことはありますか？

無かったら、じゃあ進めますね。結局西洋の方では、サンサーラとかね、生まれて死んで、生まれて死んでいっという事を言わないわけですね。しっかり

と。

で、聖書のエゼキエルを読めば、そのセクション。えーっと、神は天界から地上に降りて来て、名前忘れたな、あ、エノック。エノックという人に全ての知識を与えて、そして彼も人間に教たり、また天界に住んだと。で、昨日ちょっとお話して、見せたのだけれども、ここで皆さんに明快に説明しておかなければいけない事は、結局、神とは一体何か。誰か明快にそのことを聞いたことはありますか？

あの有名な天主教ですね。カトリズム。全世界を制覇したキリスト教。神の存在は絶対に言いません。神とはどういう姿をしているか。どういう形をしているか絶対に言いません。でも、ミケランジェロがバティカンの天井に描いて、絵。

で、何故言わないかと言ったら、結局最後に言う「アーメン」という神がいます。神が。最後に「アーメン」と言いますね。ユダヤ教には二神として有りますが、キリスト教には除いてあります。

アーメントゥーというのは、アーメンラーというのは男神で、トゥーが奥さんで、3,000、テーベ、3,200 前にテーベというその地域ね。

から出た氏神。それはギリシャではインビジブルゴッド、目に見えない神という名で。そういうことで絶対に言わないわけです。あの一、カソリックのお坊さんに聞いてください。「神はどんな姿をしていますか？」って。絶対言わないです。知っても知らなくても言えない。何故かと言ったら、太古のスメリア文明のその表現は、神はちょうどこのロケットになっているわけ、ロケット。ロケット。宇宙船上げるでしょ。あのロケットです。

で、そのバグダッド、ウル。その昔、それが宇宙センターだったわけです。そのあと喧嘩して、マウントサナイがスペースセンターになったわけです。だからその昨日、音律のことを説明したでしょう？ドレミファソラシドって。これね。これはもう 7,200 年。8,500 年前からこういう数式で出来ています。サイクル。数学的に。

最初に出る音律はBフラット。Bフラットからずーっと上がってどこまでも。それが最初の 27 インチ。音律はそれお倍、倍してそれから全部出ています。

だからプラトンのその音楽の 6×4 乗だったかな。それはもうスメリアカルチャーのこれをコピーしただけであって。で、カソリックのお坊さんが 1,100 年前に中世期にこれを、ドレミファソラシドの音律を完成させたというけども、とんでもない話で、もうその前からちゃんとあるわけです。

という風に何故これを言うかと言ったら、仏教はこれを超えるもっと壮大な時間帯で続いてきているわけです。だから私が何回も何回もジャータカ物語、久遠の彼方の話、聞かせているのはその、そういう事がサンサーラで繰り返す。

壮大な中で生きているという基本を忘れれば、なかなかその固定観念に囚われて、その、私たち自体は宇宙自体の観音様によって、生かされ作られされているという、その慈悲という事の方向性が明快に見えないということによっているわけです。それだけ想像を絶するものです。

それでヒンズーのシバ神とか、それから地球とか月、太陽は、観音様の目から出たと。作られたと。というのは観音様自体は宇宙自体だから。カルーナ。カルーナ、その。ということも瞑想していけば見えます。特にヴェーダナーヌパッサナーで最終的にはその世界が垣間見えることができます。

まあそれでもう一回言いますけど、そのアフガニスタンのムハジェディンって、テロリストの団体とか、政府の反乱軍、今でもいるけど。ディーンというのは、神の、神ということですね。ファイア（発砲）。だからエディンっていうのは、エというのは家、家。エディン、エデンというのは神の家という。

という風に、そういうリングリスティックと、言語学者は追跡していけるわけです。で、その時に言語学者は宗教的な勉強はできないからはっきり分からない。ところがカソリズムのお坊さんは朝から晩まで文学やっているから、分かっているはずなのです。おかしいということです。だから言わない。

という事を分からずに、お釈迦様の事をただ信じて、信じてしまえば、結局昔イスラムが来て、ほとんどの仏教の素晴らしい教えが無くなってしまったわけで。幸い日本には、その、護摩焚きとか、そういうことで太古のインドの手法がここに伝わっているわけなのですね。

デバダッタの五法、苦行によりカルマが消える事はない

で、それでいよいよ本題に入っていきますけども、ちょっと前にデバダッタの五法という事をちょっと説明しましたよね。その瞑想について。これは今、私たちの瞑想において非常に重要なポイントとして理解しておかなければ、方向性を間違うと思います。

これはですね、なぜそのデバダッタがそれほど、あの、ちょうどお釈迦様の教えていた教団の中で人気をとって、ほとんどその教団の比丘たちがデバダッタの方に付いていったかと言えば、歴史的に「タパス」といって、苦行とかそういう事をずっとブラフミンとか、ジャイナ教とか、そういう手法でずっとやってきたわけです。

それは、こう言っています、お釈迦様が。お釈迦様曰く、あの、非常に苦行するお坊さんとか、ブラフミンのそういう人たちの意見は、もしそういう風な非常な苦行をする事によって、一切のカルマが消え去ると。そういう事を言っている、言っていますけども、それはお釈迦様の教えの中に無いわけですね。

それを細かく説明すればもっとう頭クラクラするから、簡単に言えばです。

ところが、ジャイナ教とか、やっぱりそのブラフミンの修行は自分の体を痛めたり、それからほとんど物を食べずに苦行をしたり。それから、えっと、激しいその、行をするわけですね。それはジャータカ物語のお釈迦様の過去世でそれをずっとやった時に、お釈迦様は地獄を見た。だからそれは勧めないで、お釈迦様は中道を教えたわけです、中道。偏らない。厳しくもなく、また、だらけることもなく、その中道を教えたわけです。

「仏は白色にて三角なり」これは体験でしか観る事が出来ない

それを体制化したのが龍樹菩薩様なのですね。で、えっと、太古の昔から、こういう風に火を扱うことが非常にインドでは重要視されているわけです。

インドというよりも一番、最初の原点の教えはソロアスターといって、拝火教。まあ護摩焚きのことです。だから拝火教というのは、ペルシャのその一部だけの専売特許ではなく、日本に伝わっているわけです。

不思議な事にここだけにその手法が残っているわけです。で、その拝火教で一番大切なことは、結局最初にね、三角を作るのですよ。三角の火、杵。

それには意味があるわけです。私がちょっと前の法話集で説明したでしょ。えっと、「仏は白色にして三角なり」という事を言ったはずですよ。

それは、仏教だけじゃないのです。ヒンズーの奥義も白色にして三角。

また、あの、ユダヤ教の神もそういう風に奥義では表されている。で、カソリックのその、セント・フランシス・ピサロが日本に来たでしょう？そして南米に帰っていったその場所はエクアドル、キト。そこが南北アメリカの総本部だったのです。

だからその教会には、神は白色にして三角に顔を描かれている。で、あの、曹洞宗の道元禅師の一節読めば、そこ書いているけども。あの、曹洞宗のお坊さん方は皆さんで討議して、それを、こうじゃないか、と解説する。それはできない話。真理は皆で決めるものではないのです。

道元禅師が何故そこを書いたかといったら、体験しか見る事が出来ない所なのです、そこは。いくら討議して民主主義でも、回答は出ないです。だから非常に難しい経文をなぜか入れています。この日本広しと言ども、誰も未だに、それを解析したお坊さんの話や文献に出会って居ません。

過去、道元禅師が中国から法を持ってきても、それ解析した人間は居ないし。道元禅師も絶対に言わないはずですよ。正法眼蔵は日本の特許ではなく、その昔、揚子江が三つに渡る、あの合流して、巨大な川になるところで、いつも船が沈むわけですよ。で、そこで禅のお坊さんが、それで心を痛めて、山一つ切り砕

いて巨大な仏を作ってそれを鎮めようとしたわけです。今でもそこにその大仏はあります。

で、その時にお金が無いから、そこの代官に、「お布施をお願いします」と。「前の目をくり抜いたらやるよ」。まあ、そう言ったわけです。まあ絶対に嫌だという事を言えないから、「お前が目をくり抜ける自信があったら、目をくり抜いたらお布施するよ」と。

その偉大な禅師が、代官の前で直ぐに目をくり抜いたわけです。それで巨大な、ちょうどこの指のところに5人くらい乗れます。私も立って乗りました。足の指に、5人くらい乗ります。それくらい巨大に作られた大仏です。という風に、その、仏というのは想像を絶する力を持っているという事を言いたかったわけです。で、私も今回、正法がまた少し日本に伝わったので、これからの日本は安泰します。それは皆さんのおかげです。一生懸命やったという事で。

お釈迦様は体験によって中道を広めたが、デバダッタは、

まあそういう事で、お釈迦様はその、苦行をするなどと言わなかった。なぜかといったら、その当時、皆ブラフミンとかそういう人たちはそういう苦行をしていたわけです。それが当然であって、で、そういうことをしなければ皆、偽者だと思っていたわけですね。

で、今でもその、ジャイナ教ではそういう風な行をします。またミャンマーとかタイでも、森林派といって本当の森林派は苦行の中で衣一つを持って入って、その非常に過酷なところで修行をするわけです。

で、そうすれば一切の輪廻の災い、サンカラが消えて、涅槃に達すると。そういう風に過去のブラフミンの世界でも言われていたけど、お釈迦様は体験によって、そうじゃないですよ。で、中道の教えを広めたのだけど、でも一般の人はそれでは、手応えがない。あんまり格好も良くない。ところがそういう風に強烈な修行をする人の方がやっぱり、こう、見栄えも良いし、本当と思うのでしょ。

それで、その時の教団が大きくなった時に、ほとんどのお坊さんがデバダッタの方に行ったわけですよ。口も上手いしね。ではどういう風に説得したかと言ったら、こうなるわけですね、比丘は森の中に住むべきだ、と。そして一切の食事の、呼ばれても行かないこと。全ての食事はピンダバーダのお鉢で受けたそれだけにしなさい、と。

また、衣も捨てたものを作り直して着なさい、と。絶対に新しいそういう衣を信者から受け取ってはいけません。そして、木の根っこの所を自分の家だと思い、木の、枝の下、枝を生えている葉っぱ、その下、それを屋根と思いなさい、

と。そして、絶対に魚とか肉食べないように、と。

という五教、五の戒を持ちなさい、と。それでほとんどの若い比丘は特に、いやー素晴らしい教えだ、という事でほとんどそっちに行ったわけです。

で、その、シャリプトラさんとかね、マハーカシャパさんとか、えっと、カディラヴァニヤレヴァタテロとか、バクラテーロとか、モガラージャセロ、ナラカテロとか、そういう 6 人の方がお釈迦様に、

「お釈迦様、このデバダッタが言っている修行をとっても、私たちもそういう行をしたい」と。「非常に自分達にそういう、質素な修行の方が合いますから、どうぞやらせてください」とお願いしたのです。

「13 のドゥタンガ」お釈迦さまが教えた苦行

「じゃあ、そんなに君たちがそういう苦行難行をしたかったら、じゃあ私が 13 の苦行難行の仕方を教えます」という事を教えたわけです。で、その時のそういう 13 のドゥタンガ、というプラクティス（修行）。

ドゥタンガ。今でもドゥタンガをやっているお坊さんがタイにいるそうです。この 13 の苦行のやり方で。ミャンマーにも居るのを観ました。じゃあそのドゥタンガのやり方は、やっぱりその、「衣は投げた生地を集めてそれを使いなさい」と。そしてやっぱり信者から作られたそういう新しい衣を受けないように、と。それは同じ。デバダッタさんのほうは、衣を一つ、それだけ。実際にね、この衣一つで、上下着られるわけです。

これ一つで、下も上も。綺麗に巻いて、こういう格好で。というのは、下の衣を洗うときに、乾く間、これを綺麗に巻いて、それでちょっと用事があるから、他の比丘のところに行かないといけない時には、これ一つでクルッと綺麗に巻いて、全然分からないようにできます。でもお釈迦様は優しくて、じゃあその、下の衣ですね、この衣と、これと、もう一つはブランケットという大きいがあります。全部で 3 つ。

何故かと言ったら、40 度の熱帯でも、冬なんか 23 度でとても寒いのですよ。この衣だけ巻いてもとてもじゃないけど我慢できない。で、それをクルッと巻けばなんとか暖かく寝られるわけです。まあ、そういう事で、その、若い比丘がそんな事したら、どんどん死んでしまうと思う。よほどの体力とかそういう事が無ければ。それをまた良し、としてね。また食事もあり摂らないで、その、サドゥーといって歩いて死んでいくわけですよ。15 日。30 日以内に死んでいくわけですよ、そういう事をして。それがまた格好いいという風に、「凄い事だ」と。誰にも負けないでやる、と、つまり、あの、野球選手のスーパースターとかね。それからフットボールのスーパースターみたいに。そう

いう事をする人たちを、その当時そう見たのでしょーうね。実際の修行ではなく。修行は涅槃に行く方法だから。そういう風な手法じゃなくても真面目に心の進化によって、すぐ涅槃に達するわけなのです。そういう事が、ダンマパダにも沢山その話が出て来るけども、人は信じないわけです。

今でも存在するデバダッタ派・ゴータマカ、お釈迦様は神通よりも心の進化を

何故かと言ったら、今でもこのデバダッタ派が存在するらしいです。で、このデバダッタ派は、えーっと、お釈迦様の前の 27 仏は尊敬するけど、ゴータマブuddhaは外すわけです。その存在の名前は、ここに書けたね、えーっと、グッタマ（サンスクリット語）。ゴータマじゃなく、この宗派の名前はゴッタマカ、という、またゴータマにちょっと似た、ゴッタマカという宗派。

だから相当こういう風な、人間は優しく素直にいけば、それは嘘だろう、と。苦行難行をして、それで初めて仏に、ブuddhaに 成れる、のじゃないかという風な事を、さもありません、と。

そういう風に信じ込むわけですね。でも苦行難行派が、その、やっぱり高野山の、12 年森の中で修行するとか、それから、天台宗もそういう苦行の行者が居たり、それから、日蓮宗は朝 2 時に起きて水浴びをする、と。で、それによって、あの、涅槃に達するように思われているのか、それはわかりませんが。それを全部否定するわけではないのです。

その中にもやはり、凄い、あの、熊野街道を歩いて、参拝して、それは苦しいけども、山伏さんがそこでなんか神通を受けたり、いろんな力をもらいますけども。お釈迦さまはそうじゃなくて、神通よりも心の進化のほうを説いたわけです。

確かに滝行をすれば凄い神通を得られます。それによって人を救う事もできるけども、お釈迦様の場合は法でもって人を救う方法を説かれたわけです。だからそれを全部否定するわけではないのです。

それが本当だと思わないように。なぜかと言ったら、お釈迦様が出る前にはそういう風な苦行、今でもジャイナ教はそういう苦行。で、今でも沢山の国で、そのキリスト教の方でも聖フランシス・アッシジがね、そういう苦行はやめなさい、と。というのは、「私は悪い人間だ」と言ってね、鎖あるでしょう？鎖に刃物をつけて、叩くわけですよ。ボーン、ボーンって。血をいっぱい出すわけです。

そういう事をして神の恵みは受けない、と。やめなさいと言っている。ところが西洋にしろ、東洋にしろ、人間というのは、自分はこれだけ痛めて、傷つけたから、「これを見てくれ」と。「これだけ私は懺悔しているのだ」と。

書き換えられる人類史

だから、「絶対に神の許しがあるはずだ」と。ところがお釈迦様は、「そういう神はいない」と。何故かと言ったら、西洋で言う神は、その、今から 45 万年前にこの地球に降り立った、その、アヌンナキ。

アヌンナキというのは、アヌというのはニビルの王様の、その、アストロノーツね。50 人がこの地上に降り立ったわけです。で、キというのは地球のことです。アヌという、ニビルのことですね。

そこから 50 人の宇宙士がここに降り立ってきた、と。という事を、その、スメリアタブレットに書いて。だからその、ロケットに乗って来たものだから、この、神というのはこういう姿をしているわけです。ロケット。

まさにロケット。だからその、じゃあこれが本当かどうかといったら聖書のね、エゼキエルの最初を読んでください。ロケットが来てエンジンを発射して、エノックに教えて、またエンジンを発射して行くからここに近づくな、という一節を書いていますから。そのこと。でもカソリックのお坊さんはそこを外して、そこだけ外して、あとの言葉の方をいろいろ説明しています。

ですから私がここまで言うのは結局、コンパスとか定規あるでしょう？こう、360 度。それは距離を長くすればなかなか狂わないのです。近い目線で見ればね、1 度、2 度、すぐ狂うわけ。

で、その、太古の巨石文明はね 100 分の 1 度しか狂ってない、100 分の 1 度。巨大なもので、巨大な距離で線を表しているから。その、もう一回戻しますけども、イギリスのほうのメガリスティックヤードというのは、フランスの方で独自にそのヤードを独自に研鑽したら、その違いは髪の毛 1 本の違いしかない。

という風に仏教はそれを超える法を教えるものだから、そういう端的な目で仏教を勉強すれば非常に難しいと思う。私みたいに想像を絶する広大無辺な、そんな話がまた、合ってくるわけですね。

それでポルトガルの考古学者が 2000 万年前の石窟の槍とかいっぱい発見したわけなのです。で、それが百年前にいっぱい発表して書かれたわけですね。ところがダーウィンの手法では一直線で人間が進化していくから 2000 万年前、話が合わない、と。それで 1950 年代からか、そこら辺に 2 万年前と書き換えて出して、今はその発見された石器は蔵の中に収めて、見えないようにしている、と。

やっぱり都合が悪ければね、変えてしまうわけです。で、私達はこのサイエンスに頼って生きているから、サイエンスは最高だと。学校で。そのサイエンスがこういうことを何回もしたらね、やっぱりサイエンスも頼るものがない。またこういう聖書の方も結局、キリスト教のほうは 6 回書き換えているわけで

すよ。最初はエボノナイト。ユダヤ人のための宗教。マルシナイトといったらジェンタイル（ユダヤ人以外）も入れたわけです。で、ノスグッドといって今度は知識。アレキサンドリアとかそういう知識のある都市の方たちが、あの、こう色んな、knowing、thing、knowingとか。言ったでしょ。ああいう風な知識を主にすると。

で、その後プロトオーソドックス、オーソドックス、カソリズム、プロテスタント、クリスチャンとか。いっぱい書き換えて行くわけです。で、そういう風な、憲法も書き換える、サイエンスも書き換える、哲学もどんどん変わる。じゃあ私たちは何を指針にしてここで生きて良いかと。お金だけ儲ければ良いのかと。

それさえあれば楽々と生きるし。じゃなければ、権力だけを持てばなんとか良いのかと。まあ、その時はなんとか良いかもわからないけど。今度、次の世というものを否定した場合にはそれで良いけども。

慈悲の心による心の進化を社会的に難しくしている

次の世というのが有ります。だから最初から、最初に十二因縁を皆さんに教えたでしょう。十二因縁の解説を少ししましたよね。で、これは完全に間違っ
て教えているとか。これもまた間違っていますと。で、ここは書かれているけどスペルが間違っている、と。で、これがやや似ていますと。で、その本当の解析は未だに日本では誰もしていない。どういう事なののでしょうか？

で、この十二因縁を分かなければ、法華経は読めない、と書かれているし。十二因縁を知る者はもはや仏に近づいたと、ちゃんと書かれているわけです。

だから非常に重要なテーマで、特に坊さん方はそれを分かなければいけないけども。えっと、昨年、私それで、非常に失礼な言い方をしたけども、そのランカ経の、えっと高崎直道（たかさきじきどう）さん【法話集 74 参照】です。彼はその、哲学的に解説しているから、空の意味も分からないし、それで彼は彼で一生懸命、文献からやっているからね。的が大いに外れている。それをちょっと説明したはずだけど、という風に、結局、最高の英知を持った方でも的を外すと。じゃあ、私たちは何によって本当に心を進化できるのかと。

それは非常に簡単なことで、やっぱり慈経を読むでしょう？その、お母さんが子供を育てて、優しくするという。その、慈悲の塊ですよ。それをいかにして私たち男性も掴むかという主題があるわけです。なかなかそれが掴めないような世の中にしているわけ。そうやれば女々しいとか、女くさいとか。潔くないとか（笑）。「お前　なんで、そんな女みたいに涙を流すのか」とか。まあまあ全て、させないようにさせないようになっている。

原因は、その昔、言ったでしょう。えっと、インドのある王様の煩惱という、その時代がどれくらい古いか分らないですよ。なぜかと言って、その、スリランカとタミールランドの間のその島あるでしょう？150 万年前は人工的に作られた、構築された橋の跡があるというのだから。だから私たちは歴史的にどれだけ本当のことを分かるのか、隠されているのか？

また話がこんがらがるけど、これ非常に重要でしっかりした方向性を持ってもらいたいから、えっと、北の方の方向を見るのに、やっぱり 100 キロ、200 キロの建物があつたら間違いないでしょう？ところが 1 キロ、2 キロでもわからないし、10 メーター、20 メーターだったらもっとわからない。そのことを私が言っているだけで、えっと、土日月火水木と、そのことを説明しましたよね。

その、月とか太陽とか、その動きによってこの曜日が決まっていると。で、地球は何かと言ったら、丸に、十字なのです。丸に十字。その、これができたのはもはや 6000 年、7000 年前のサインなわけです。2000 年前の十字架じゃないわけ。で、この意味はソフィアという意味。ソフィア。ソフィアというのはプラジナパラミッタ、パンニャ。この地球はパンニャである、と。仏説摩訶般若波羅蜜多のパンニャ。

で、心の進化はこのパンニャをいかに進化させるかという手法で、禅法。それから法随観。ベダナ。それからカーヤヌパッサナー。その、歩行禅とかね。そういう。究極の教えをお釈迦様が持ってきて、それでそれが難しいから結局、題目を唱えるとか、まあ、それで入っていても悪くはないけど、その次の段階、それだけやれば必ず成仏するか？と。それはできない話。それにプラス、慈悲の心をいっぱい持てば、それは可能性ありますよ。人に尽くすとか。結局、御経に書いている様な、読むでしょう？朝、毎日。ああいう風な生き方をした場合には題目を唱えて、そういう風に涅槃に達するチャンスがあるけれども、普通はできないと思う。社会的にそう出来ていないから。

だからダンマパダで、お釈迦様を迎えるために、女の方がねもう一生懸命、家の仕事をして、それで聞きに行こうと思ったけども、その時に、なぜか家の土間の板を踏み込んで、バーンと自分で当てて死んでしまったらしい。で、お釈迦様はその説法をするときに知っていますから、今、この方はこうして死んでいきましたけど、涅槃に達しました、と。だから全てはこの、慈悲の心をいかに進化させるか、にあるわけです。

魔の正体と魔の業、私達は魔の世界に生きている

それに慈悲の心をいかに進化させるかは、心をしっかりと見ていなければ魔がいっぱい居るものだから、結局久遠の彼方のときに、あの、インドの王様が子供を生贄にして神に捧げて、自分の願いを叶えようと。そういうブドゥーという、アフリカではやはり鳥とか色んな動物の血を撒いて捧げて、ご利益をもらう、と。それは神通にあたる事であって、それをあんまりやって、今度はそこから鬼が出た、と。八つの八鬼が出て、その分身が世界中に周って、今、この世では、その、世界中分身の魔が踊りまくっている。

今から 50 年前、こういう風な、イスラム帝国で首切る？そんなバカな。想像もできない状態で、戦争でもう手段を選ばずよその国を攻撃して行って、イラクも大量兵器があって、それで攻めて行って、それが無くなった。で、何百万という孤児が出ているわけですね、今。で、誰も救わない。家も、それで何も言わない。これはまさに私たちは魔の世界に生きているわけです。

それに誰も反対しないし、結局民主主義の名前において、それを実行してしまおうわけでしょう？で、つい最近も、「イラク日報」は無いとっていましたが、書類が出てきて。なぜそれを隠したかといったら、自衛隊の方から恐ろしい事を薄々は聞いていました。沢山の人が自殺したとか。それが 58 名も自殺したのではなく、戦闘で殺されたかもわからない。それが分かったら日本中がもう沸き立つでしょう？抑え込む。何とかどんな事でも抑え込む。

アメリカではそういうことを大きくさせるために、me too、me too、私もやられた（笑）。トランプさんがポルノ女優で、こう、凄い人と関係があって、ワッと騒いだけど、もうアメリカはそんなこと聞かないしね。

日本のほうはもうメディアがワーって行って、me too、me too、で。肝心なこっちのほうから抜けちゃって、まあこれも魔業ですね。魔のなせる業で。もっと大切な事があると思いますよ。

今は若者をいかにして、平安に無事に育てるかという、政治的な課題があるけど、もうほったらかし。若い人達が、平安に生活ができれば、老人も恩恵もらえるし、また安心して暮らせるわけですよ。

ところが、もう老人をいっぱい働かせて、若い者に仕事させない、と。という風なことは、政治家が思っても出来ないのか、させないのか。特にその、政治家団体とかそういう所は言わなければならない。

如何にして若い人たちを育て上げるか、ということを真剣に、口先じゃなく、ね。実際に仕事を与えて、金出さなきゃいけないわけですよ。

で、そのお隣の中国は、今から 20 年前に経済難に遭ったときに、国民に 1 年に 4 週間の休暇を与えたわけですよ。で、共産主義だからね、仕事は、全部じ

やないけども、ほとんど 90%は働いているでしょう？

じゃあ何するかと。お金は必ず入ってくるのだから、で、団子買たり、それでまた経済がグーッと上がったわけです。だから政府としては若者に仕事を与えるのに必須です。プラス、休暇を沢山与えなければいけない。

夢みたいな話でしょう？ 私のばわいは、そうなのです。働いて 2 年目に、1 年間に 3 週間の休暇日。23 年働いたら 6 週間の休暇日。その間、4 週間、5 週間。どんどん上がって行きました。で、最後のときはもうまとめて 12 週間もらって。で、はい、さよなら、と。

で、辞めたその日から、手取りが全然変わらない。待つこと無しで、生活もそのまま続けるだけです。

【参加者】

でも先生、今のカナダは違うのでは？

【水源師】

え？

【参加者】

今のカナダ人の若者は違うのではないですか？

【水源師】

そうですねえ。ちょうど良い時に行って、良い時に所に入って（笑）。だからやっぱりこうして、皆さんに奉仕しなきゃ天罰を受をける、のじゃないですかね？

【参加者】

（笑）

如何にして人を生かし、社会を生かすか

【水源師】

こういう風な法を持って、「そうじゃないですよ」と。 ああいう、何にもない国でもできるのだから、日本は当然できるはず。絶対にできるはず。最低 1 ヶ月休暇を与えて全然問題無いはず。で、仕事もちちゃんと与えて。

そしたら今みたいにキチキチにならないしね。私は体験上、そう見えます。そう思います。ただし、国が借金を膨大に作った場合には、無理。じゃあ誰が

この膨大な借金を作ったか。誰の責任で、国民の許可なしに。その人たちに「君、払いなさい」と言ったらおしまいだけど、隠すでしょ。国民は借金あると一生懸命働く。払う必要は無いわけです、この借金は。簡単。ポーンと帳面開いて、「はい、借金あんたしたでしょ？払いなさい」。それでおしまい。

そしたら皆さんが、家を買って、ローンを支わなきゃいけないでしょう？いや国が、ちゃんと、若者に一人一人、アパート与えますよ。嘘みたいな話でしょう？シンガポールがそうです。シンガポールで生まれた人は必ずアパートを一軒もらえます。

それを指導したのが印光禅師。その昔、中国が共産党に政権が代わる前に、その先生が、お前、2人のうちどっちがシンガポールに行くか、と。シンガポールに行ったとき、その時の禅寺はあばら小屋。ちっちゃいあばら小屋。

やっぱり法力を持っているからね。どんどんどんどん人を助けて、全ての政治家はこのお坊さんにお話を聞きに行くわけです。で、その、困った人をどんどん助けるし、お寺も開けてドンドン。それでますます信仰して、国が栄えて。今、世界の大金持ちはほとんどシンガポールに住んでいるわけです。もっともな安全国。それから、安全が第一なわけです。で、街も綺麗だし。

で、腐敗も少ないということで。何故かと言ったら、今から30年か40年前、プライムミニスター、首相がね、アパートを2軒持った、と。え？なぜ2軒あるの？と。もう国中が騒いだわけです。まあ、ちょっと違いますね、ここは(笑)。アパート、アパート。2軒持ったという事で大騒ぎした。まあお隣の韓国も厳しいけどね。大統領、が豪華な私邸に住むし(笑)。

という風に民主主義はもの凄く難しいわけです。シンガポールは小さいからそれができたけどね。で、また、国境もね、オープンなのです。私が行ったら、「テロリストか？」どころか、「はい、どうぞ」って。調べない、調べない。「はい、どうぞ」って(笑)。出るときも「はい、どうぞ」って(笑)。それでマレーシアの若者はね、どんどん自由に働きに、パスポートも無しに往ったり来たりっとしていました。

お寺で会った素晴らしい若者が「私の家に来ないか？」って。どこ？って言ったら「これから汽車に乗ってマレーシアのこの町に住んでいる」と。いやー、ちょっと時間がないから、と。まあそれだけオープンなわけです。

で、私がベトナムに行ったときも、そっちの国ではもうパスポートが無いのですよ。無いのです。ベトナムからカンボジア、カンボジアからベトナム、カンボジアからタイ、もう自由に、国境なんてないわけです。ただ私は外国人だから、中国のシーサンバーナー、雲南省、その、ミャンマーだったかな。ちょっと国境をこえて、足踏み越えて行ったわけです、ちょっと。で、それで隊長が警備兵に「お前パスポート見たのか？」「いや、見ていません」(笑)。凄く

怒られて。現地の方は関係ないわけです。行ったり来たり。その、バスも通って。ところが私達が国境を無断で越えるというのは大犯罪だけど、現地の方は日常茶飯事。

何も無くて、パスポートも無くて、紙切れ一つで行ったり来たり。じゃなければ人が生きていけないから。だから人をいかに生かすかという本題は、宗教家の使命で、人をいかに生かすかということだったら、まあもちろん修行はさせるけども、その社会が良く回るように。

あの、寺町とかね。門前町とか。そういう風なことでお金がクルクル回ったけども。今はもうモノポリー主義でね。一つが独占で押さえるから、何にも上手い事いかないです。

だからまあ、そういう事で、瞑想はそういう風な力をもって、将来こっちのほうで偉い指導者になってくれればなあと思うけれど。もちろん法が一番大切。法があつてこそ、そういう事も出来る事であつてね。それが無ければ方向が狂って、結局、何とかパーティーとか、それに巻き込まれて、ついには、こう無機社会になるかもしれない。だからいかにこの、法を持って自分を磨くという事が大切か。それが役立たないかもわかりませんよ。

森の中で一人コツコツと。まあ、それもそれで良いわけです。社会が荒れ狂っているから、その、出る準備が無いけど。でもその中で助けを求めて来た場合には助けてあげないといけないわけです。

アメリカとの戦争に負けた日本と勝ったベトナム、勝敗の原因

それが経済的なものでも無いし。それから武道の方でもとか、いろんな所があります。

一番不思議なのは、ミッドウェー、あの海戦で、日本が負けるわけがないのに全滅したわけです。負けるわけがないのです。その戦法を見たら。で、何をしていたかと言ったら、全ての海軍の将校たち、これをやっている。座禅。座禅。ニセの座禅をしている。なぜニセの座禅をしていたっていうのが、座禅したら未来が見えるのですよ。生死の大事な時は、明快に観えます。それが朝から晩まで座禅。負けちゃった。沈んだ。日本の大本営にアメリカのスパイが入っていた。それで、あの、終戦になったらこの人たちがどこに逃げたか誰もわからない。GHQ もわからない。完全にアメリカのスパイ。

だからインパール作戦あるでしょう？日本の2万、3万の軍人さんが死んだでしょう。戦場に食糧輸送しなかった。全軍死にます。ガダルカナルも一緒。大本営発表。あの、何々、進軍して何々勝ったと。どんどん全軍兵士を殺して、英霊にして祭っていますね。宗教的には大きく間違い、日本の万の神々がとても

悲しんでいます。これが、この間違いを起こさないようにと。こういう事で、今歴史的な検証が必要です。

第二次世界大戦が始まる2ヶ月前、12月8日。その2ヶ月前、9月にもはや、アメリカは戦勝国としての記念館をペンタゴンとホワイトハウスの間に作っていたわけです。その距離が366メガリスティックヤードのかける2倍。第二次世界大戦、366かける2。勝ちます、ということ。つまり日本の宗教家は、全然瞑想も何もしていなかったということです。

ホー・チ・ミンが瞑想して、どこに2万の敵兵が来るかわかっていたと現地の方よりお話を聞いております。通過地点に穴掘って。それでドコドコッと戦車が落ちて。アメリカのビッグA1という最精鋭陸軍の2万4千兵士が、2万4千の軍が壊滅して、2千の将校だけが空母に乗って逃げたと言っていました。で、なぜ故ホー・チ・ミン大統領が、それが分かったかと言ったら、ちゃんと側近に瞑想する部下をいっぱい付けているし、彼もやっていたから見えるわけですよ。どこから敵兵が来るか。

まあこれはね、国を守る者の話で。経済も一緒。その昔、竹中平蔵経済大臣はアメリカ上がりでみんな分かる、と。ところがなんとアメリカはね、シカゴ経済で全然ダメ、ケインズ経済で全くニセモノ。ダメな経済学なのですよ。

それもわからない。それがもう最高だと思って。今、なれの果てが今、こういう状態。だから全ては精神界と直結しているわけです。ただしお釈迦様はあんまり、そういう方向に走らないようにと。巻き込まれたら、元も子も無くなるから。

どうせ命を取られるか、助けることができれば最高だけど、人は聞く耳持たないよって。まあだから、まあ、こういう風に法話集で少しは発表する時期が来たのかなと。

まあ、そういう事で、瞑想の仕方はこと細かく述べれば、結局さっき言ったようなデバダッタの手法がもう、日本にも蔓延して、その、苦行をしてやれば悟りが啓く、と。そうだろうな、と。それは全然違う話です。

言いたいことは、今、私が皆さんにご指導しているこの方法しか私には見えないうし、それ以外のそういう方法は、まだ出会ったことがないし、そういう行者様にもお会いしていません。話を聞けば全然できない話ばかりしています。

本に書いてあることは素晴らしいけど絶対出来ない手法です。という事で、ま、皆さんが検証してください。やっていって。自分でやっていって。ただ私は今回非常に嬉しく思うのはたくさんの皆さんがどんどん進化しているから、非常に私も安心感。安心いっぱい。まあ、これで日本も安泰するなあと思うところまで来ているので、ますます頑張ってください。はい、今日はこれでいいですか？何か質問ありますか？



忍野 富士山

質疑応答

七色は仏の印

【参加者】

個人的な質問ですけど良いですか？

【水源師】

はい。

【参加者】

さっき瞑想中に心見っていて、あの、なんですかね、七色の小さな粒がいっぱい出てきて。

【水源師】

え？

【参加者】

七色っていうんですかね。七色のツブツブがいっぱい出てきて、

【水源師】

七色の？

【参加者】

ツブツブっていうんですかね？

【水源師】

ツブツブ？七色は仏の印です。

【参加者】

が、出てきまして、すごく体があったかくなって。っていうのがあって。

【水源師】

いや、仏界が応援しているんですね。頑張ってください。

【参加者】

わかりました。

【水源師】

だからそういうことで、私も安心し始めているわけです。法がこの地にしっかり居着けば、この大地は安定するわけです。何回も言ったでしょう？

法がなければ大変な悪い事が社会に沢山発生しま。

【参加者】

そうなのですね。あの、仏像というか、お釈迦様がいっぱい出てくるんです。チラチラチラチラ。だから変だなあと（笑）。

【水源師】

いや、変じゃないですよ。それ、正しい道に進んでいるという証なのです。

【参加者】

そうですか、良かったです。

【水源師】

はい。無い無い無い、何も無い無い無い。真っ黒けの闇。これは間違っている。要はこのデバダッタの手法ということ。

本当の正法をやっていけばたくさんのご褒美がどんどん出てきますから。それが人によって早い、遅速はあるけども、必ずや出ます。

その証にあなたもそういう風に現象が現れるし、他の方も現れているから、私も自信を持ってこういう方法でやってください、と言っているわけです。

【参加者】

ありがとうございます。

護摩焚き

【参加者】

あの、護摩焚きの意味について教えてもらいたいんですけど。あの、ゾロアスター教、拝火教のもので、お釈迦様が教えられた法では無いと僕は理解しているのですけれども。

【水源師】

やっぱりあの、数千年前からずっとインド太古の行法で続いているものだから、インドでは今でも、結婚するときには火を焚きます。

で、そのときに、一番大事なものは、アグリという神様ですね。

【参加者】

火の神様。

【水源師】

火の神様。アグリというのは三角です。で、表します。だからその、アグリさんだけはおじいちゃん、白い服を着ます。いつでも。その、それが聖書にいっぱい出てきます。

だからそういう素晴らしい天界の方はおられます。だからそういう風に誠心誠意で生きる方には御利益が来ます。

実際に、あの、私が護摩焚きをした時には、その、火というのはもう、ただの火じゃないですよ。純粋な素晴らしい、純化された火です。

口では言い表せないし、それを見た人だけが分かります。また不動明王様も出てきます。それは観音様の化身。

だから赤不動、青不動、全て観音様の化身です。それ説明しなかったかな。

【参加者】

一度されています。

南極に隠されたアーク

【水源師】

そうでしょう。だからその、南無観世音菩薩ということは凄い事なのです。だからその、観音様の目からこの太陽と月が出た、と。当然の事。

で、この観音様はパンニャそのものでしょう？ソフィアそのもの。それを十字で表されている。太古の昔。

で、その、まあ中世にできたとかそういうことを言われる、エチオピアのアクスムというところに、その時、昔、モーゼだったかな。

モーゼのあと、えっと、アークオブコンベンナントと言って、それを持って行った、と。それはインディアナジョーンズで有名なアークで、みんな死んでいくというその兵器。それが、2 千何年だったかな。2016 年だったかな、の、1 月か 2 月。えっと、サウジアラビアでアーク・オブ・セント・ガブリエルが発見されて。

それに手を付けて 2,000 名の方が死んだわけです。最初で、そのあとまた触ったら 100 何十人死んだのだけど。あの、「スタジアムが壊れて死んだ」と新聞で発表されていました。そうではなく。

アークオブコンベンナントのセントガブリエルが発見されて、それでその時、アメリカとロシアは戦争をして大変な時だけでも、サウジアラビアはアメリカに頼まなかったのです。ロシアのプーチンさんに頼んで、プーチンさんが 20 隻の軍艦を送った。20 隻の軍艦。

それで南極に持って行ったわけです。で、南極に持って行く前に、ロシアン

オーソドックスの教主と、今のカソリックの教主が、キューバで出会ってそのお祈りの仕方の秘法をロシアのキューールという人だったかな。に、渡して。その人が南極に持って行って、南極の教会でそれでお祈りして。

ロシアの最精鋭の秘密精鋭隊と一緒に南極で消え去った。その教主は帰ってくるだけ。どこに持って行ったかわからない。

で、その、南極の地下の下には巨大な UFO が埋まって、それでそれをジョン・ケーリーが選挙の時に見に行ったそうです。で、そこからは、マンモスとか、色んな動物がね、ちょうどシベリア永久凍土で即死したみたいに、その、腐らないで出てきたわけです。

で、その時の人も出てきて、人は大体 9 尺。9 尺=2,7 メートル。で、その、スタイルはエジプトの衣みたいなのを着けて。それはなぜ分かったかと言ったら、そこで働いていたアメリカの地質学者が発表したわけです。

だからその後、35 年間、去年からこれから 35 年間は、絶対に個人では南極にいけないという協定を結んだわけ。

で、その前にあの、アトランティス TV というカリフォルニアのテレビ局が、えっと、3 人のスタッフを送って、なんか撮影してきたけど、そのビデオはいまだにネイビーシールが持って、一般公開無し。で、そのアトランティス TV は、それは私の物だから返してくれと言っても返さない。

という風な現状なわけです。だから私たちは実際に何も分かっていないということは何回も言っているのはこういう事で。

アメリカの方ではもうこれは筒抜けで皆、知っています。速いから。分かっています。だからここまで隠されているから、ただ一つ。法をちゃんと受け取って、あの、進化していけば、こういうものも問題じゃない。

じゃなければ、結局本当のことを頭に入れて心に入れなければね、心にとっては本当の事が食べ物だから。

ニセの食べ物を食べたら心がやられてしまう。健康に育たない。健康に育たない心は次の世で健康なところに行けない。

だから本当の事を知りなさい、というのはこの事。こういう事を知らなくても良いわけですよ。山とか、その、田んぼの中で、本当の事を見て、植物を育てて暮らしていく方が、よほど徳があるということ。

ところが私達はつい、こう、そっちの方が良いって言ったらダーッとそっち走って、こっちが良いって言ったら皆ダーッと走って。それで一生そればかり繰り返して、結局は挙げ句の果てに病気になって、

あっち痛い、こっち痛い。薬があれば良いのだけど、薬も無くて苦しんで死んでいく、と。まあ、そういう事で。

で、こういう風に本当の瞑想をすれば病気になるわけがないのだけど、この

本当の瞑想というのは最も嫌でね、最もしたくない教科。だから、皆さんはこれをやられているから、まあ安心して、

明日どうなろうとも心配しないで、これだけ。明日死んだって問題無いのだから。すぐ転生してしまうから、良い所に。まあ、そういうことで、良いですか？また壮大な話になってしまったね。

【司会者】

では回向文を。

(読経)

【水源師】

これが本当の仏道です。難しいです。本当に、こういう事を聞いて、そしてまっしぐらに正法を極めようというのは本当に難しいです。

で、やりやすい棚ぼたは正法じゃないから、無駄な事。逆に悪い方向に行くと思います。そういうものは無いのです。

一時的な、その、お薬で気持ち良くなるかも分からないけども、それは一時的で。もっと次は悪くなる。

こうして苦しいけども、ちゃんとやっていけば、すごい、御利益をもらいます。だから天界も皆さんを応援しているから。安心してやってみてください。まあ、そういうことで。



千手千眼観世音の印のお釈迦様、スリランカ

水源禪師法話集 86

(2018 年 4 月 30 日 山梨合宿 4 日目)

2019 年 3 月 3 日発行

編集兼発行 一乗禅の会